科目ナンバリング		U-LAS70 10001 SJ50					
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー：内申書を考える ILAS Seminar :Seminar on official school report on the grade of a student in Japan			担当者所属 職名・氏名	教育学研究科 准教授 奥村 好美		
群	少人数群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール(対面授業科目)
開講年度・ 開講期	2025・前期	受講定員 (1回生定員)	15 (15) 人	配当学年	主として1回生	対象学生	全学向
曜時限	月5	教室	1共24			使用言語	日本語
キーワード	内申書 / 教育評価 / 教育方法学						
[授業の概要・目的]							
<p>本セミナーでは、内申書を軸にして、教育評価の基本的な概念や考え方を理解すること、テキストに基づきテーマについて学術的に検討・考察できるようになることを目指します。</p> <p>授業では、テキスト（田中耕治、西岡加名恵（編）『内申書を問う 教育評価研究からみた内申書問題』）を1章ずつ読み進めます。その際、必ずどこかの章を担当し、要約・追加調べについて発表してもらいます。</p>							
[到達目標]							
<ul style="list-style-type: none"> ・内申書を軸に、教育評価の基本的な概念や考え方を理解する。 ・テキストに基づき、テーマについて学術的に検討・考察できるようになることを学ぶ。 							
[授業計画と内容]							
第1回 ガイダンス 第2回 教育評価とは何か 第3回 内申書の現状 実態はどうなっているのか 第4回 内申書問題の歴史 何が課題となってきたのか 第5回 学校間接続と内申書 内申書に期待される役割とは何か 第6回 内申書の開示問題 内申書は見ることもできるのか 第7回 評定と観点別評価 どのように成績がつけられているのか 第8回 生徒会活動、部活動と内申書 どのように記載すべきか 第9回 学校間格差と内申書 格差にどう向き合うか 第10回 イギリスの経験から なぜ教師による評価は入試に用いられてきたのか 第11回 フランスの経験から 入試で内申書はどう使われているのか 第12回 国際バカロレアの経験から 評価の信頼性は高められるのか 第13回 内申書はどこへ向かうべきか 第14回 全体総括・ディスカッション 第15回 フィードバック							
[履修要件]							
特になし							
[成績評価の方法・観点]							
毎回の授業後に提出してもらおうミニレポート（20%）、授業での発表（80%）							
[教科書]							
田中耕治、西岡加名恵（編）『内申書を問う 教育評価研究からみた内申書問題』（2024）ISBN: 978-4-641-17497-9							
ILASセミナー：内申書を考える(2)へ続く							

ILASセミナー：内申書を考える(2)

[参考書等]

(参考書)

西岡加名恵、石井英真、田中耕治(編)『新しい教育評価入門 人を育てる評価のために 増補版』
(2022) ISBN:978-4-641-17476-4

[授業外学修(予習・復習)等]

毎回、教科書の指定された章を事前に読んでください。
また、必ず一度は教科書の要約・追加調べについて、発表を行なってください。

[その他(オフィスアワー等)]

[主要授業科目(学部・学科名)]